

県議会

あ き た

だより

令和8年7月発行

No.196

全戸配布広報紙

年4回発行



ユネスコ無形文化遺産 山・鉾・屋台行事
花輪祭の屋台行事(平成28年登録)



ユネスコ無形文化遺産 風流踊
毛馬内の盆踊(令和4年登録)

一般質問

8人の議員が一般質問を行いました。
各議員の主な質問と知事等の答弁の要旨を掲載します。



すみたとおる
住谷達 議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 湯沢市雄勝郡

●主な項目

- ① 中東情勢の影響と経済対策について
- ② サイバーセキュリティ対策について
- ③ 本県農業の振興について
- ④ ツキノワグマ被害対策について
- ⑤ 老朽化した道路・橋梁の整備について



ツキノワグマ被害 対策について

Q 人の生活圏にクマの出没が増加する中、行動圏の分析と出沒抑制策の検討が急務であるが、具体的な調査・研究方法は。また、専門人材が不足する中、どのような実施体制を考えているのか。

A (知事) 捕獲したクマの歯や胎盤痕^{たいばんこん}から推定年齢や繁殖状況等进行分析し、将来の個体群の増減や自然増加率を推定するとともに、GPSを活用した行動追跡調査等によってクマの行動を解析し、被害防止につなげることが必要と考えている。このため、当面はデータ分析の外部委託も検討しつつ、全国への公募やあらゆるネットワークの活用により、可能な限り早期の人材確保に努め、令和9年4月の新たな組織立ち上げを目指していく。

サイバーセキュリティ 対策について

—市町村における対策への支援—

Q 県内市町村への技術支援や被害拡大防止の助言、復旧支援の仕組みは。また、今後3年で目指す水準は。

A (政策企画部長) 県では、今年度からデジタル人材プール(P3①)を構築し、ニーズに応じた専門人材のマッチングと伴走支援を行っている。また、※インシデント対処能力の向上支援に加え、小規模自治体にはDXアクセラレータ(P3②)を派遣して相談に応じるほか、全市町村が国の実践的サイバー防御演習に参加し、共同訓練を行っている。3年後に、各市町村が脅威に対して柔軟に対応できる「回復力」と「継続的な改善体制」が定着している状態を目指し支援を行っていく。

※情報セキュリティに関する障害・事故及びシステム上の欠陥



みうらしげと
三浦茂人 議員

[会 派] みらい
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① スタジアム整備について
- ② 風車事故について
- ③ クマ対策について
- ④ 県内就活支援事業について
- ⑤ 高校入試制度の在り方について



スタジアム整備について —代替施設の整備費—

Q 基本方針案で示された整備費の上限142億円には、秋田市八橋運動公園の第二球技場、健康広場の代替施設の整備費用が含まれているのか。

A (知事) 基本方針案で示した設計費や調査費等を含む整備費の上限額は、秋田市の調査による代替施設の整備費も含めた試算を算出根拠としたものである。代替施設の費用負担については、今後、秋田市と協議していく。

風車事故について

—今後の再発防止と実態把握の取組—

Q 県民の不安払拭に向け、再発防止策、安全対策を早急に講じるべきではないか。また、風力発電施設の実態把握に努めるべきではないか。

A (知事) 重大事故発生時の地元自治体への報告が義務化されておらず、事業者はもとより、国からも報告がなされる仕組みの構築を強く働きかけている。また、事業者の責務を明確化し、地元自治体への早期の事故報告や立入規制等に関する県独自のより実行性の高いガイドラインについて早期の策定を進めており、その徹底を図っていく。さらに、全てを把握できていない小形風力発電設備は、関係自治体と連携し、設置状況等を調査・確認するなど、可能な限り実態把握に努めていく。



う さ み や す ひ と
宇佐見康人議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① 中東情勢とインフレ時代の対応について
- ② 子育て世帯の負担軽減と児童福祉の基盤強化について
- ③ 秋田港の整備について
- ④ スタジアムの整備について
- ⑤ 部活動の地域展開と移動手段の確保について
- ⑥ 制度の狭間にある子どもたちの支援について
- ⑦ 特別な支援を必要とする障害児の支援について
- ⑧ 読書環境の整備について



秋田港の整備について

Q 港の活用について、地元団体と再度協議を行い、波及効果を生むような整備を進めていくべきではないか。

A (知事) 秋田港港湾計画(P3③)の策定から10年近くが経過し、社会情勢が大きく変化していることから、今後は、クルーズ船の旅行客のみならず、地域をはじめとした多くの方が集い、交流を深める場となるよう、港湾計画の見直しについて地元や関係団体と協議し、検討を重ねていく。セリオンリスタは、秋田港エリアの整備を見据えながら、子どもの遊び場等として快適に利用できるよう、計画的な修繕や館内整備を進めていく。

子育て世帯の負担軽減と児童福祉の基盤強化について ー学用品・通学費の補助拡充ー

Q 物価高に苦しむ多子世帯やひとり親家庭、困窮世帯を対象とした県独自の施策により、県がリーダーシップを発揮して、市町村を強力にバックアップすべきではないか。

A (教育長) 経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対しては、市町村で就学援助制度による支援を行っている。県教育委員会では、負担軽減につながる具体的な事例について、市町村に情報提供している。また、国に対し財政的支援の拡充を強く要望するとともに、県独自の支援策の在り方について、国の動向も踏まえながら関連する知事部局と連携し研究していく。

Glossary 用語解説

【①デジタル人材プール】

市町村のデジタル化やDX支援のニーズに応じることができる最適な人材の派遣を行うため、県が市町村と事前に協議し、市町村支援のためのデジタル専門人材を確保(プール)する仕組みのこと。

【②DXアクセラレータ】

県が市町村のデジタル化やDXを支援するため、一定の経験やスキルを有するデジタル人材を職員として確保したものうち、総務省に任命されたもの。

【③秋田港港湾計画】

秋田県が管理する重要港湾である秋田港について、物流の強化や洋上風力などの海洋再生可能エネルギー拠点の形成、災害に強い港湾づくりを目指し、施設の整備や土地利用の方向性を定め、2030年代半ばを目標年次とした基本計画。

一般質問

8人の議員が一般質問を行いました。
各議員の主な質問と知事等の答弁の要旨を掲載します。



うり ゆうのぞむ
瓜生 望 議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 潟上市

●主な項目

- ① 風力発電事業の運用状況について
- ② 中東情勢および複合的なコスト高騰に伴う県内経済への影響について
- ③ 秋田のこれからの観光戦略について
- ④ 不妊治療の伴走支援と理解の促進について
- ⑤ 八郎湖のこれからの姿について



秋田のこれからの観光戦略について — 日本酒を核とした秋田ブランドの構築と観光戦略 —

Q 日本酒を本県観光戦略の中心に据え、「日本酒県秋田」という圧倒的なブランドイメージを構築できないか。

A (知事) 県内には、個性的で魅力のある酒蔵が多く、日本酒が強力な観光資源となっている。また、世界的な和食ブームや「伝統的造り」のユネスコ無形文化遺産登録などによる輸出量の増加や、インバウンド需要の高まりにより、今が海外に発信する絶好の好機と捉えている。このため、ブランド価値の更なる向上に向け、地域G1 (P5④) の指定に向けた取組を支援するとともに、観光戦略の一つとして「日本酒県秋田」などのプロモーションを大胆に打ち出していく。

八郎湖のこれからの姿について — 八郎湖の未来に向けた再生と利活用の方向性 —

Q 環境再生への挑戦が続けられている八郎湖について、水質被害を最小限に抑えながら、未来に向け、どのように再生・利活用していくのか。

A (知事) 八郎湖の再生に向けては、水質保全対策とあわせて、県民や地域住民の方々に八郎湖が持つ魅力やポテンシャルを広く周知し、親しみを持っていただくことが重要である。このため、水生生物の生息環境の改善や、レジャー資源を生かした体験型のイベントの開催など、生態系の保全や魅力の向上に関する施策を進めるとともに、こうした取組を様々な媒体を活用して情報発信することにより、地域全体の魅力の向上と活性化につなげ、「恵みや潤いのある“わがみずうみ”」の実現を目指す。



ふく た ひろゆき
福田 博之 議員

[会 派] 立憲民主党
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① 物価高・資材不足から秋田の産業と雇用を守る包括的戦略について
- ② 安心安全な水インフラ先進県の実現に向けたウォーターPPPの推進について
- ③ 稼ぐ秋田の実現に向けたふるさと納税戦略について
- ④ あきた質上げ緊急支援金の活用に向けた制度の見直しについて



物価高・資材不足から秋田の産業と雇用を守る包括的戦略について — 資材不足に対する県の対応 —

Q 地元雇用を維持するための県内企業の救済に向けた知事の覚悟と取組は。

A (知事) 県単独での給付金等の実施は多額の財政負担を伴うため難しいが、雇用調整助成金の要件緩和を全国知事会を通じて国に働きかけている。さらに、事業継続に向け、これまでのセーフティネット対策に加え、省エネルギー化に資する設備投資への支援拡充を6月議会に提案している。今後も本県産業を支える中小企業・小規模事業者を守るという強い決意のもと、収益力向上に向けた企業の攻めの投資に加え、エネルギーコストの負担軽減策や円滑な価格転嫁に向けた環境整備などに、スピード感を持って取り組んでいく。

稼ぐ秋田の実現に向けたふるさと納税戦略について — 県の積極的なリーダーシップ —

Q 共通返礼品の拡大・創出や、トラベルクーポンで複数市町村をまたぐ周遊をコーディネートするなど、オール秋田での取組を主導していくべきではないか。

A (知事) 市町村の独自性を尊重しつつ、それぞれの状況を踏まえ、共通返礼品の拡充を図るなど側面から支援を行っていく。また、複数市町村を周遊できる体験プログラム等は、新たな本県のファン層獲得に有効であることから、導入に向けた検討を進める。今後は、多くの人を選定されるよう、全国の好事例やノウハウを学ぶ機会を設けるなど、市町村と共にマーケティングスキルの向上に努め、県全体の寄附額拡大につなげていく。



たかはし こう
高橋 豪 議員

〔会 派〕 自由民主党
〔選挙区〕 仙北市

●主な項目

- ① 任期二年目を迎えた鈴木県政の覚悟と成果創出について
- ② 世界情勢の変化を踏まえた強い本県経済の構築について
- ③ 地域未来戦略を活用した成長分野への投資誘導について
- ④ 企業誘致と高付加価値宿泊施設を中心とした観光施策について
- ⑤ 良好な観光地形成と環境の整備について
- ⑥ 県内医療機関におけるサイバーセキュリティ対策の強化について
- ⑦ 医療MaaSやオンライン診療の展開について
- ⑧ 秋田新幹線新仙岩トンネルの整備について



世界情勢の変化を踏まえた強い本県経済の構築について

Q 国が掲げる成長投資、危機管理投資の流れを、本県の産業振興や企業誘致、県民所得の向上にどのようにつなげていくのか。

A (知事)「新時代の資源大国」である本県は、グローバル企業が拠点とすべき最適地と確信しており、洋上風力発電の事業化支援や、再エネ工業団地を核とした国内外からの高付加価値企業の立地を促進し、GX産業(P5⑤)の集積を図っていく。また、スマート技術の社会実装を進め、収益性の高い農業を実現するほか、J-クレジット(P7⑥)の販売を後押しし、林業・木材産業の成長産業化を目指す。こうした取組を通じて県内産業の競争力強化と賃金水準の向上を図るとともに、魅力的な雇用の場を創出し、力強い本県経済を構築していく。

高付加価値宿泊施設の誘致による観光産業の成長について

Q 高付加価値宿泊施設の誘致とともに県独自の宿泊施設立地支援制度や伴走支援体制の構築を進めるべきではないか。

A (知事)本県宿泊施設の稼働率を向上させるため、通年観光を推進する誘客キャンペーンや施設の高付加価値化に取り組んでいる。一方、本県は、高価格帯の宿泊施設が少ないうえ、ハイブランドホテル等が進出していないことから、多くの旅行消費額向上機会を損失している。そのため、ハイブランドホテル等の誘致に積極的に取り組む他の自治体の事例も参考にしながら、実効性の高い手法を検討していく。

Glossary

用語解説

【④地域GI(地理的表示)保護制度】

いぶりがっこなど、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度。酒類については、品質や社会的評価が産地とつながりがあると認められた場合に、その産地名を独占的に名乗ることができる「酒類の地理的表示制度」がある。

産地には他の酒類との差別化、消費者には品質の確かな商品を安心して選ぶことができるという効果がある。

【⑤GX産業】

化石燃料に頼らない風力や太陽光などの脱炭素電力を利用することで、製品やサービスに新たな付加価値を創出して競争力を高めていく企業など、「脱炭素」と経済成長の両立を目指す「GX(グリーントランスフォーメーション)」の志向で成長が期待される産業。

一般質問

8人の議員が一般質問を行いました。
各議員の主な質問と知事等の答弁の要旨を掲載します。



たけうち の ぶふみ
武内伸文 議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① クマによる人身被害防止対策について
- ② 本県のツキノワグマを資源としたシビ産業について
- ③ 交通空白の解消に向けた県の主導的役割について
- ④ 空港ファンクラブの現状と先進事例のベンチマークについて
- ⑤ インバウンド誘客戦略の転換について
- ⑥ 企業をターゲットにした関係人口創出の取組について
- ⑦ GX戦略地域における企業誘致戦略について
- ⑧ 自転車の安全走行に関する周知と環境整備について
- ⑨ 藤田作品の魅力発信と訴求力向上の取組について



クマによる人身被害防止 対策について ー市街地におけるドローンを活用した対策ー

Q 警察や猟友会と連携して「市街地におけるドローン追尾システム」を導入できないか。

A (生活環境部長) 県内でも警察や市町村でクマ搜索へのドローン活用が進んでいる。また、企業にドローン等を活用した新たなクマ対策技術を募集したところ、県内外から多くの応募があり、今後実証し実効性や普及性の高い搜索手法の早期確立を目指すことにしている。市街地におけるドローンによる追尾システムは、クマの搜索や監視に有効と考えられるため、先進事例のコストや運用方法などを調査・研究し、導入の可能性を探っていく。

自転車の安全走行に関する 周知と環境整備について ー学生を対象とした通学ルートの振り返りー

Q 自転車通学の生徒に、通行可能な歩道や車道から歩道に避難すべき場所等を確認させる機会を、学校が警察と連携して持つべきではないか。

A (教育長) 教職員研修や交通安全講習会で、法改正を踏まえた内容も取り上げており、知識の習得はおおむね図られている。一方、道路状況に応じた柔軟な判断や対応についてはまだ十分とは言えず、通学路の再確認や安全マップの更新など、より具体的・実践的な指導が必要と考えている。そのため、生徒がICTを活用しながら通学路の危険箇所や安全なルートを確認するなど、主体的に考え活動する機会を設定できるよう、研修会を通じて指導・助言を行い、交通安全教育の一層の充実に努めていく。



か が や ち づ こ
加賀屋千鶴子 議員

[会 派] 日本共産党
[選挙区] 秋田市

●主な項目

- ① 新スタジアム整備と知事の政治姿勢について
- ② 地域医療について
- ③ 国民健康保険について
- ④ ツキノワグマ対策について
- ⑤ 中小企業・小規模事業者に対する支援について
- ⑥ あきた質上げ緊急支援金について
- ⑦ 農業について



新スタジアム整備と 知事の政治姿勢について

Q 県民が今望んでいるのは物価高騰やクマへの対策で、スタジアム整備の優先順位は高くない。誰もが手軽に楽しめる、身近なスポーツ施設の維持・拡充こそ優先すべきではないか。

A (知事) 本県の持続的な発展のためには県民の暮らしを豊かにする施設の整備も重要である。スタジアム整備の基本方針案では、整備費の上限設定や県民理解の表れとなる一定の民間資金の調達を求めていることにしている。また、中学・高校等のサッカー大会など県民に開かれた施設とするほか、周辺施設と一体となった賑わいの創出などにより、経済効果が高まることを目指していく。老朽化した県立体育館の建替えをはじめ、既存施設の改修等も計画的に進めていきたい。

国民健康保険について ー国保財源の繰越金の活用ー

Q 県の国保財政は黒字が続き、繰越金が膨らんでいることから、子どもの均等割や国保税引き下げの財源に活用してはどうか。

A (知事) 繰越金は、将来的に見込まれる^{*}事業費納付金の急激な上昇を抑え、想定を超える保険給付費の増加に適切に対応するための重要な備えとして位置付けており、代替財源としての活用は適切ではないと考えている。繰越金は、本来的には被保険者に還元されるべきものであり、次年度以降の事業費納付金の算定に当たり、繰越金を充当することで市町村の納付額を圧縮し、被保険者の急激な負担増が抑制されるよう、適切な運用を心がけていく。

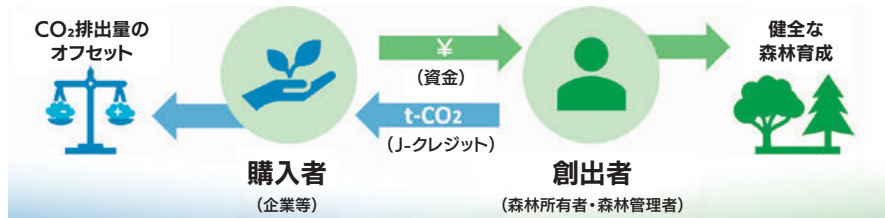
^{*}各市町村が県内の医療費を支えるために県へ納めるお金。地域の医療費等に応じて計算され、国保の運営を県全体で安定させるための財源。

Glossary

用語解説

【⑥ J-クレジット】

温室効果ガスの排出削減・吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。認証されたクレジットは、温室効果ガスの排出量を相殺したい企業等に売却することができる。森林分野では、その売却益が森林管理費用に充てられる。



出典：林野庁ウェブサイトより (https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/J-credit.html)

県議会への意見募集

議会における審議や政策提言の参考とするため、県民の皆さまからのご意見を募集します。

募集期間

- 8月14日(金)まで(当日消印有効)

必要記載事項

- タイトルに、「県議会への意見」
- 選んだテーマ
- 住所、氏名、年代(10代、20代など)

提出方法

- ① 郵送…〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
秋田県議会事務局 議事調査課

- ② メール…kengikai@mail2.pref.akita.lg.jp

- ③ 秋田県議会ウェブサイト

…「県議会へのご意見」はこちらから→



留意事項

頂いたご意見は、個人情報伏せて全議員に回覧します。また、ウェブサイトなどでご意見の概要を紹介したり、その際に居住地や年代を併せて掲載したりする場合があります。

(掲載例：秋田市・30代、大館市・60代)

募集テーマ

1 クマ被害対策

県民生活への影響を最小限に抑えるため、先端技術の活用や捕獲後の処理体制、県内外への効果的な情報発信など、今後一層進めてほしい取組について。

2 スタジアム整備による賑わい創出

周辺施設と一体となった新たな賑わい創出につなげるため、どのように有効活用していくべきか。

3 バスや電車などの地域公共交通

運転士などの担い手不足や便数の減少など、サービスの縮小に伴う課題と解決につながる取組について。

4 次世代に向けた県議会活動の情報発信

高校生や大学生など次代を担う世代に、県議会の活動をもっと身近に感じてもらうためには、どのような取組や情報発信が必要か。

5 子どものスマートフォン利用

子どもたちの長時間にわたるスマートフォン利用に対して、どのような対策が必要か。

6 特定利用空港・港湾

国から、県内4施設について、民生利用を主としながら、大規模災害などの緊急時に自衛隊や海上保安庁が円滑に利用できるよう申し入れがあったことについて。

総務
企画
委員会

Q 「特定利用空港・港湾」については、県民の日常的な利用を前提とし、住民の安全安心の確保を最優先に考えて国と協議すべきではないか。また、施設の整備促進が期待されるため、様々な利害関係者と将来イメージを共有しながら、予算確保の面でも国に働きかけていくべきではないか。

A 「特定利用空港・港湾」への位置付けが、大規模災害時に自衛隊や海上保安庁とのスムーズな連携・対応につながることや、決して軍事化を目的とするものではないことを関係団体等に丁寧に説明しながら、今後の方向性を決めていきたい。また、港湾施設や道路ネットワークなどのインフラの機能強化や既存事業の推進に向けて、関係部局と連携し国に働きかけていきたい。

Q 災害時の多様なニーズに対応するため、NPOなど各支援団体の活動調整や情報共有を行う「災害中間支援組織」が新たに設立されるが、支援活動をスムーズに実施するためには、事前に具体的な役割分担をしておくべきと考えるがどうか。

A 平時から、災害時に困りごとを聞き取る「被災者支援コーディネーター」のスキルアップを図るとともに、情報共有会議などを通じて、一般のボランティアと専門技能を有するNPOなどの役割分担を明確にし、災害時の迅速な対応につなげていきたい。

福祉
環境
委員会

Q こども夜間休日オンライン診療体制整備事業について、対象となる子育て世代に丁寧な周知が必要と考えるが、どのように行っていくのか。また、協力医の手当の充実や、夜間休日に対応していただく薬局との連携は図られているのか。

A 子育て世代には、SNS等のほか、保育園などの子育て世代が利用する施設を通じて、制度のきめ細かな周知を図っていく。また、協力医には、待機料等の手当を確保しているほか、薬局については薬剤師会と連携し対応可能な店舗を増やしていく。

Q 大気汚染状況等を常時監視する測定機器の更新事業において、計画的な機器更新の考え方や、黄砂・PM2.5飛来時の県民への注意喚起の仕組みは、どのようになっているのか。

A 機器は、概ね10年を経過し不具合が増えたものから計画的に更新している。県民への注意喚起は、県のウェブサイト等で数値を公表しており、注意報レベル以上となった場合には、マスク等を通じて発信している。今後も、県民に確実に情報が届くよう、発信方法を工夫していく。

農林
水産
委員会

Q 経営規模の拡大や複合化に必要な機械・施設の導入を支援する経営体育成支援事業が大幅に増額されているが、規模の大小にかかわらず、農業者が広く活用できる制度となっているのか。

A 地域計画に位置付けられた農業法人や認定農業者のほか、集落営農組織等が支援対象となっている。国が定めた農業構造転換集中対策期間に合わせて予算が拡充されていることから、今後も本事業を活用し、地域の基幹的な農業者を支援していく。



きめ細かな管理により生育する子牛

Q 畜産経営維持緊急支援事業において、飼料等の価格高騰の影響を受ける畜産農家の負担軽減を図ることにしているが、畜産農家が将来的に補助金に依存しない自立した経営を実現するには、飼育管理技術のより一層の向上が必要ではないか。

A 今後も飼料価格の高騰が懸念される中で、畜産農家が持続可能な経営基盤を構築できるよう、子牛をきめ細かく管理し出荷日齢における発育水準等の底上げを図るなど、高度な飼育管理技術の定着に向け、引き続き支援していきたい。

産業 観光 委員会

Q 県民応援プレミアムチケットは、前回、銀行に紙チケット購入希望者が殺到し、通常業務に支障をきたしたほか、窓口が15時で閉まるため購入できなかった方もいた。また、電子チケットも、登録等の方法が分からず購入できなかった方もいたことから、販売方法に改善の余地があるのではないか。

A 紙チケットについては、金融機関と取扱店を増やすための協議を行うほか、購入申込書の事前配布などの対策を調整している。また、スーパーマーケットなどで、スマートフォンを使用した登録・購入のサポートも行いながら電子チケットに誘導し、混雑の回避を図る。

Q スタジアムの基本計画策定においては、プロスポーツビジネスの持つ地域経済の牽引力や投資効果など、客観的な指標についても調査を行い、経済波及効果を示すべきではないか。

A スタジアムの機能や規模等を決めるうえで、経済波及効果の視点は重要と認識しており、今後、秋田市と協議してクラブ側の意見や新県立体育館との相乗効果も盛り込みながら、地域経済の活性化や賑わい創出への寄与といった視点も持ち、策定を進めていきたい。

建設 委員会

Q 仙北市檜木内川の災害復旧において、コンクリート擁壁の特殊堤が採用されるのはどのような場合か。また、事業箇所には内陸線車窓から望む景色が含まれると思うが、自然豊かな景観を損ねることにならないか。

A 周囲に道路や家屋が存在し、用地的に制約がある場合は、スペースを必要とする土堤ではなく、コンパクトなコンクリート擁壁による施工となる。また、特殊堤の地上高は1mから1.5m程度であり、景観を損ねるようなものにはならないと考えている。

Q 秋田湾・雄物川流域下水道臨海処理区において、県と関連7市町村が管理する下水道管路施設の維持管理と、改築更新・計画案の作成について、一括して民間に委託することによるコスト削減効果を、どの程度と見込んでいるのか。

A 包括民間委託とすることで、約10%のコスト削減を見込んでいるほか、今回は、委託内容に計画業務を加えることにより、民間の最新技術の活用によるさらなるコスト削減が期待され、削減による利益を官民で分け合う「プロフィットシェア」の仕組みも導入している。

教育 公安 委員会

Q ツキノワグマ被害未然防止対策事業において、爆竹や熊よけホーン等の使用による忌避作業を実施するとのことであるが、忌避剤の設置や草の刈り払いなどの対策も必要ではないか。

A 忌避剤の設置や学校周辺の伐採については、各県立学校や市町村教育委員会で対応しているものと認識している。さらに必要な対策については、忌避作業や学校周辺の巡回を行ったうえで、随時対応していきたい。

Q 自転車の安全走行に関する指導について、学校だけではなく、県民に対しても交通ルールの周知徹底や現場での指導が必要ではないか。

A 中学校や高校での交通安全教室では、講話のほか、体育館等に模擬コースを設定し、警察官による実演指導を実施している。県民の皆様には、チラシ等の配布により自転車の交通ルートを周知するとともに、自転車の交通違反に指導警告を行っている。今後も、自転車の交通安全に関する取組を進めていく。



標識(特例特定小型原動機付自転車・普通自転車の歩道通行可)

予算特別委員会

Q 県管理道路の今後のあり方検討においては、市町村や住民の代表等、様々な立場の方を交えた協議が必要と考えるが、今後のスケジュールや検討の進め方は決まっているのか。

A すぐに廃止に向けて動き出すものではなく、現時点で具体的なスケジュールは決まっていないが、路線の利用状況調査のほか、沿道の利用者や関係市町村の考え方などをしっかり聞き取るなど、地元の方々と丁寧に協議を進めていきたい。

MOVIE



6月30日



7月1日

県内調査

常任委員会では、審査の参考にするため、県内外の先進事例などの視察や調査を行っています。

農林水産委員会

大雪による果樹の被害状況などについて視察しました。また、令和7年度に「過疎地域持続的発展優良事例表彰総務大臣賞」を受賞した梅内聚落で、豊かな森林を活用した持続可能な取組について意見交換を行いました。

4月23日(木)、4月24日(金)

- ① 鹿角市十和田関上地域
- ② かづの果樹センター
- ③ 鹿角市花輪地域
- ④ 大館市中山・曲田地域
- ⑤ 有限会社大野台グリーンファーム（北秋田市）
- ⑥ 梅内聚落（能代市二ツ井町）での意見交換



鹿角市十和田関上地域の視察



梅内聚落での意見交換の様子

令和8年第1回定例会〈6月議会〉表決状況

議案等	件名 ※下記以外の議案等については全会一致で可決されました。 ※6月議会(6月9日、6月15日、7月3日)の本会議における表決状況は右の二次元コードからご覧になれます。	議決月日	議決結果	表決者数	賛成者数	反対者数	自 民				
							鈴木 洋一	鶴田 有司	川口 一	柴田 正敏	加藤 鉦一
知事提出	秋田県名誉県民の選定について	6/9	同意	39	37	2	○	○	○	○	○
	令和8年度秋田県一般会計補正予算(第1号)	7/3	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	令和8年度秋田県下水道事業会計補正予算(第1号)	7/3	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	あきた芸術劇場条例の一部を改正する条例案	7/3	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	秋田県立体育館条例案	7/3	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について	7/3	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
議員提出	皇室の伝統に基づく安定的皇位継承に係る国会論議促進を求める意見書	6/15	原案可決	39	32	7	○	○	○	○	欠
委員会提出	自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書	7/3	原案可決	40	38	2	○	○	○	○	○
請願	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択について	7/3	不採択	40	8	32	×	×	×	×	×
	「あきたこまち」と「あきたこまちR」の明確な分別表記および消費者の選択権確保について	7/3	不採択	40	1	39	×	×	×	×	×

議会レポート

●令和8年第1回定例会〔6月議会〕

■期間 6月9日～7月3日(25日間)

●議案の議決状況

知事提出議案

■予算 **可決 3件**

- ◆令和8年度秋田県一般会計補正予算(第1号)
44億1,983万円
ほか補正予算2件

■人事 **同意 4件**

- ◆秋田県監査委員の選任について
ほか3件

■条例 **可決 7件**

- ◆秋田県立体育館条例案
ほか6件

■その他

同意 1件

- ◆秋田県名誉県民の選定について
- 可決 9件**
- ◆公の施設の指定管理者の指定について
ほか8件

議員提出議案

■意見書案 **可決 2件**

- ◆首長が傷病等により自ら意思表示をすることが困難となった場合の対応に関する制度の整備を求める意見書

首長が重篤な傷病等により自ら意思表示をすることが困難となった場合でも、地方行政の円滑な運営と首長の尊厳、名誉ある退職を両立するために、必要な制度の整備を速やかに行うよう強く要望する意見書案が、6月9日の本会議に全議員から上程され、全会一致で可決されました。



ほか1件

委員会提出議案

■意見書案 **可決 1件**

- ◆自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書

秋田県議会永年在職議員表彰

6月9日の本会議で、鈴木洋一議員(写真右)が永年(35年)在職議員として表彰されました。



議会開催予定

令和8年第2回定例会(9月議会)
令和8年9月8日(火)～10月7日(水)

※変更となる場合は、秋田県議会ウェブサイトでお知らせします。

テレビ広報

「みんなに発信！秋田県議会」

奇数月の最終日曜日に、秋田放送(ABS)で17時10分から放送。議員へのインタビューを交えながら、県議会の様子をお伝えします。放送後はYouTubeでも配信しますのでぜひご覧ください。



YouTube

表紙 花輪祭の屋台行事・毛馬内の盆踊

花輪祭の屋台行事

幸稻荷神社と花輪神明社の合同例大祭。毎年8月19日と20日に10町内の絢爛豪華な屋台が巡行する。屋台は、「腰抜け屋台」と呼ばれ、太鼓の叩き手が歩きながらお囃子を奏でる。屋台が集結する駅前行事や20日未明に杵形の前で行われる「朝詰め」の奉納演奏が最大の見どころ。

毛馬内の盆踊

毎年8月21日から23日にかけて毛馬内で行われる情緒豊かな盆踊り。路上で焚く篝火を囲んで踊る輪踊りで、踊り手は紋付や留袖の衣装をまとい、優雅な踊りを披露する。また、男女とも豆絞りの手ぬぐいで口元を隠し顎の下で結ぶ独特の頬被りをする。



上記の二次元コードはいずれも「鹿角市ウェブサイト」です。